

豚の産次別繁殖育成成績について

長野 鍊太郎・森 淳
(九州農業試験場)

NAGANO, R. and MORI, T.

Effect of Parity on Reproductive Performance of the Sow and Offspring.

繁殖雌豚の多頭飼育においては一応6産が更新の目安とされており、その主たる理由は老齢になると産子数が減少すること、陣痛が弱く、助産の機会が多くなるなどがあげられている。今回日本種豚登録協会熊本県支部の産子検定に関する資料を産次別に整理し、繁殖育成成績を検討したので報告する。

調査材料

調査対象豚は43年12月から47年3月まで分娩したランドレース種の母豚730例、およびそれらの産子8,251頭を対象とした。産次別では第1産308例、第2産229例、第3産116例、第4産56例、第5産15例、第6産6例で7産以上の例はなかった。産子検定に関する資料とは日本種豚登録協会が制定している種雌豚産子検定に合格した

ものばかりであり、いわば選択されたものばかりで、その意味では調査豚はランダムではない。

結果

分娩子豚頭数、生産子豚頭数は4産、3産、5産が多く、ついで2産、1産、6産の順となった。また育成率は産子数の多かった4産、3産が他の産次よりやや劣ったが有意差ではなかった。3週齢子豚総体重では6産が最も劣り、ついで1産であった。4、2、5、3産の間には有意差はみられなかった。1頭平均体重は6産、1産は他の産次よりやや小さい傾向がみられたが有意差ではなかった。また発育の斉度は1産が最もすぐれ、また3週齢子豚総体重と発育の斉度の合計点では6産は他の産次より劣ったが有意差ではなかった。

豚の産次別繁殖育成成績 (1腹当たり, ランドレース種)

産次	腹数	分娩子豚頭数	生産子豚頭数	哺育開始頭数	3週齢育成頭数	育成率	3週齢子豚総体重	総体重点	発育の斉度	発育の斉度点	1頭平均体重	得点
1産	308	11.09	10.92	10.57	10.07	95.24	58.05	5.62	0.61	2.87	5.81	8.50
2産	229	11.31	11.12	10.72	10.28	95.84	60.27	5.93	0.66	2.65	5.89	8.58
3産	116	11.59	11.34	10.86	10.29	94.90	61.59	6.12	0.67	2.64	6.05	8.76
4産	56	11.89	11.59	10.86	10.14	93.29	59.73	5.79	0.72	2.45	5.97	8.23
5産	15	11.40	11.27	10.40	9.93	95.80	60.37	6.00	0.72	2.40	6.13	8.40
6産	6	10.67	10.00	10.00	9.83	98.33	54.97	5.33	0.71	2.50	5.65	7.83
平均(計)	730	11.30	11.10	10.68	10.17	95.26	59.46	5.82	0.65	2.72	5.89	8.54
		**	**	N. S.	N. S.	N. S.	**	*	**	**	N. S.	N. S.

T検定 (5%水準で有意でない区間をアンダーラインで結ぶ)

分娩子豚頭数	生産子豚頭数	3週齢子豚総体重
産 6 1 2 5 3 4	産 6 1 2 5 3 4	産 6 1 4 2 5 3
総体重評点	発育の斉度	発育の斉度評点
産 6 1 4 2 5 3	産 1 2 3 6 4 5	産 5 4 6 3 2 1